

調査研究の実施内容

1. 調査研究の実施期間

平成 15 年度～平成 17 年度。

2. 平成 16・17 年度の調査研究事項

- (1) 化学物質過敏症の児童・生徒の体調不良と、教科書との関連性について実態調査を行う。
(H15 の継続)
- (2) 児童・生徒への対処法について調査研究を行う。(H15 の継続)
- (3) 流通倉庫の環境整備について調査研究を行う。(H15 の継続)
- (4) 現行教科書から放散する VOC の成分分析を行う。(H15 の継続)
- (5) 使用実態に則した条件設定のもと、教室内の濃度測定を行う。
- (6) 教科書改善の可能性について検討する。

3. 調査研究の実施内容

A 実態調査について

- (1) 児童・生徒の体調不良と教科書の関連性を調査する。(H15 の継続)
- (2) 関係者に、ヒアリング調査を実施する。
- (3) 流通の実態調査を行い、輸送及び保管方法について環境整備の検討をする。(H15 の継続)
- (4) 教科書の適性を備えた対応本について調査研究をする。

B 素材調査について

- (1) 教科書から放散する VOC の成分分析調査を行う。(H15 の継続)
(製造直後・出荷直前・供給直前の教科書について分析/各 11 種類・計 33 点)
- (2) 教科書使用状況下の VOC 放散量について分析調査を行う。(小・中学校用教科書 8 点)
- (3) 流通倉庫内における VOC 濃度の測定を行う。
- (4) 教室内における VOC 濃度測定を行う。
- (5) 教科書から放散する VOC の経時変化を検証する。(1 日目・3 日目・7 日目の放散速度)

4. 調査研究の方法

調査研究の観点に沿って、委員会を開催し調査研究を行う。

実態調査と素材調査の分科会を設置して、テーマ別に調査研究を行い、全体委員会に報告して検討する。

5. 調査研究の実施体制

教科書改善に関する「調査研究委員会」を設置する。この委員会は、学識経験者、教育関係者、医学関係者、製紙会社、印刷製造関係者(印刷・インキ)、流通関係者、教科書発行会社、及び(社)教科書協会の役員をもって構成する。